

(別紙2) 試験科目・内容・細目・参考書一覧

科目	内容	細目 (出題範囲)	参考書
年金数理	年金数理と年金財政の基礎及び応用	<ul style="list-style-type: none"> 年金数理の基本原則 計算基礎率 年金現価率 定常人口論 (含む人口モデル) 財政方式 保険料と責任準備金 積立金と過去勤務債務 数理的損益分析 	年金数理 (平成 27 年 3 月改訂版) (※1) (日本アクチュアリー会)
年金法令・制度運営	職業倫理並びに年金制度に関する法令・通知、設計、財政運営及び退職給付制度に関する会計・税務	<p>職業倫理</p> <p>公的年金制度 (厚生年金・国民年金等) の基礎知識</p> <p>中小企業退職金共済制度等、厚生年金基金制度 (※)、国民年金基金制度、確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度の設計・財政・運営並びにこれらに関連する法令・通知等</p> <p>退職給付制度 (退職金制度、中小企業退職金共済制度等、厚生年金基金制度 (※)、確定給付企業年金制度及び確定拠出年金制度) に関する退職給付会計 (国際会計基準を含む) 並びに税務</p> <p>企業年金連合会の目的・事業</p> <p>上記に関する時事問題・応用問題</p> <p>※厚生年金基金制度は出題範囲に含まれますが、必須問題とはしません。また、出題する場合は多肢選択式での出題とします。</p>	<p>日本年金数理人会： 「行動規範」 (※2)</p> <p>厚生労働省： 「国民年金及び厚生年金に係る財政の現況及び見通し」(2019 (令和元) 年財政検証結果) (※3)</p> <p>日本アクチュアリー会： 「年金」(第1分冊～第5分冊) (2019年2月) (※1)</p> <p>企業年金連合会： 「企業年金に関する基礎資料」(令和3年度版) (第6章3～7、第10章、第11章および各章の統計資料を除く) (※4)</p> <p>注1：「厚生年金保険法及びH25年改正法(*)」「確定給付企業年金法」、「確定拠出年金法」とそれぞれの関係法令・通知等及び関連実務基準等を適宜参照して下さい。</p> <p>注2：「退職給付に関する会計基準」、「International Accounting Standard 19 Employee Benefits」とそれぞれの関係文書及び当会が定める関連実務基準等を適宜参照して下さい。</p> <p>注3：関連諸法規が改正された場合、教科書の該当部分を適宜読み替えてください。告示等を含む関連諸法規については、近時改正が数多く発生しております。主務官庁のウェブサイト等にご注意ください。(当年5月末までの改正を出題範囲とします。)</p> <p>(*) 公的年金制度の健全性及び信頼性の確保のための厚生年金保険法等の一部を改正する法律 (平成 25 年法律第 63 号)</p>

(別紙2) 試験科目・内容・細目・参考書一覧

- (※1)・・・日本アクチュアリー会事務局 (tel:03-5548-6033) までお問い合わせください。
- (※2)・・・これは本になっておりません。日本年金数理人会のウェブサイトにて公開されておりますので、ここから入手してください。(冒頭のページにて「日本年金数理人会について」をクリックしてください。次のメニューの中に「行動規範・懲戒規則」があります。)
<http://www.jscpa.or.jp/about/ethics.html>
- (※3)・・・2019 (令和元) 年財政検証における各試算の結果の詳細については厚生労働省のウェブサイトにおいて公開されております。
<http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/nenkin/nenkin/zaisei-kensyo/index.html>
- (※4)・・・企業年金連合会のウェブサイトにて販売されております。
<http://www.pfa.or.jp/jigyo/shuppanbutsu/kisoshiryō/index.html>